

FACTSET › SEE THE ADVANTAGE

フレームワーク ライフサイクル ポリシー と FACTSET オンラインコンポーネント



フレームワーク ライフサイクル ポリシー と FactSet オンラインコンポーネント

FactSet は 2016 年に FactSet Workstation のライフサイクル ポリシーを改訂しました。このポリシーは、FactSet ユーザーが最適な FactSet リリースを確実に実行できるようにし、ご利用可能な最高の機能と安定性を提供します。

このホワイトペーパーでは、フレームワーク ライフサイクル ポリシーとオンラインコンポーネントの両方について詳しく説明します。オンラインコンポーネントは、手動インストールを必要とせずに FactSet Workstation を更新するために使用されるテクノロジーです。

目次

フレームワーク ライフサイクル ポリシー と FactSet オンラインコンポーネント.....	2
なぜフレームワーク ライフサイクル ポリシーは重要なのか？	3
フレームワーク と オンラインコンポーネント	3
Installed Version 対 FactSet Version.....	4
Early Adopter (EA) 対 General Release (GR)	4
フレームワーク ライフサイクル ポリシー	5
サービス終了したバージョンを起動した場合	5
推奨.....	6
ベースインストールのアップグレード	6
オンラインコンポーネント キャッシュ フォルダ.....	6
お問い合わせ	6

なぜフレームワーク ライフサイクル ポリシーは重要なのか？

FactSet のお客様が FactSet Workstation を使用して最高の経験ができるようにすることが最も重要です。FactSet Workstation の古いリリースを実行していると、旧バージョンの FactSet コンポーネントを使用し、また、後のリリースで修正された既知のバグに遭遇する恐れがあります。

フレームワーク ライフサイクル ポリシーは、FactSet の旧バージョンをサービス終了するための合理的かつ実施可能なポリシーを確立し、より新しい FactSet Workstation リリースに移行できるようにします。

フレームワーク ライフサイクル ポリシーについて説明する前に、まずオンラインコンポーネントについて説明しなければなりません。オンラインコンポーネントは最新の機能、改良、バグ修正を提供できるように設計された FactSet の技術であり、新しいバージョンを手作業でパッケージ化して展開する必要がありません。

フレームワーク と オンラインコンポーネント

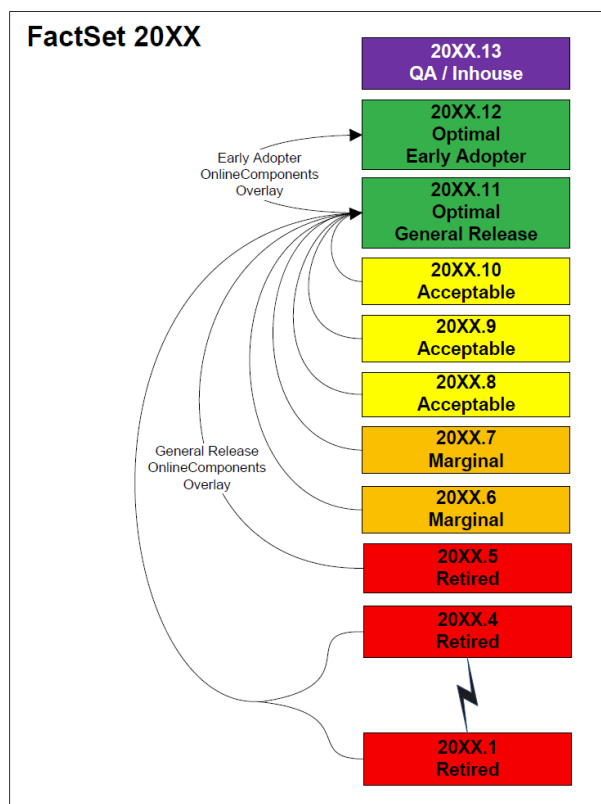
FactSet のあるバージョンをインストールすると、オンラインコンポーネントは FactSet Workstation の新しいバージョンをインストールすることなく、FactSet フレームワーク内の任意のリリースにアップデートさせることができます。

フレームワークは共通のベースファイルを使用する番号付きリリースの集まりです。オンラインコンポーネントは最初にインストールされたバージョンと同じフレームワーク内に含まれるリリースにアップデートすることを可能にします。あるフレームワークから別のフレームワークにアップデートするには、新しいバージョンをインストールする必要があります。

オンラインコンポーネントのアップデートは、コード署名証明書と MD5 ハッシュを使用して保護されます。オンラインコンポーネントのアップデートファイルは、証明書と TLS 1.2 +暗号化を使用して保護された FactSet のデータセンターから受信されます。

例えば、20XX はフレームワークです；つまり、20XX リリース (20XX.2、20XX.3 など) をインストールすると、オンラインコンポーネントを使用して最新のリリースにアップデートできます。このプロセスは、最初にインストールされたバージョンが何か月も古いものだとしても、FactSet を最新バージョンに保ちます。

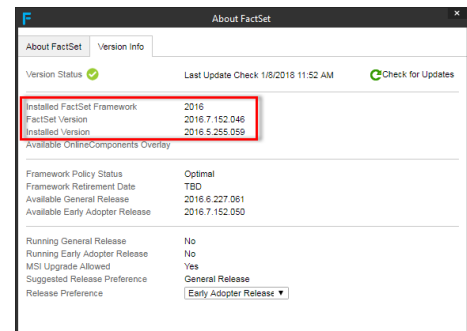
オンラインコンポーネントは多くのお客様環境で動作するようデザインされており、また FactSet ユーザーは PC の管理者権限を持つ必要はありません。



Installed Version 対 FactSet Version

オンラインコンポーネントは最初にインストールされた FactSet Workstation のファイルまたはレジストリキーを変更しません。代わりに、アップデートファイルがダウンロードされ、FactSet Workstation はこれらのファイルのリダイレクトし、元のインストールと共に重ね合わせます。

このため、オンラインコンポーネントとフレームワーク ライフサイクル ポリシーについて説明する時は、両方のバージョンを検討することが重要です。installed version は、本来 PC にインストールされている FactSet の初回ベースインストールバージョンですが、FactSet version は現在ご利用中のバージョンであり、オンラインコンポーネント経由で配信されます。



Early Adopter (EA) 対 General Release (GR)

他のインターナルのアプリケーションに対して、最新のバージョンを事前にテストする機会がないままに、ベンダーが自動的にアップデートを提供することについて、多くのお客様が懸念していることを FactSet は理解しています。この懸念に対処するため、FactSet には、Early Adopter (EA) と General Release (GR) の 2 つのオンラインコンポーネントリリーススケジュールがあります。

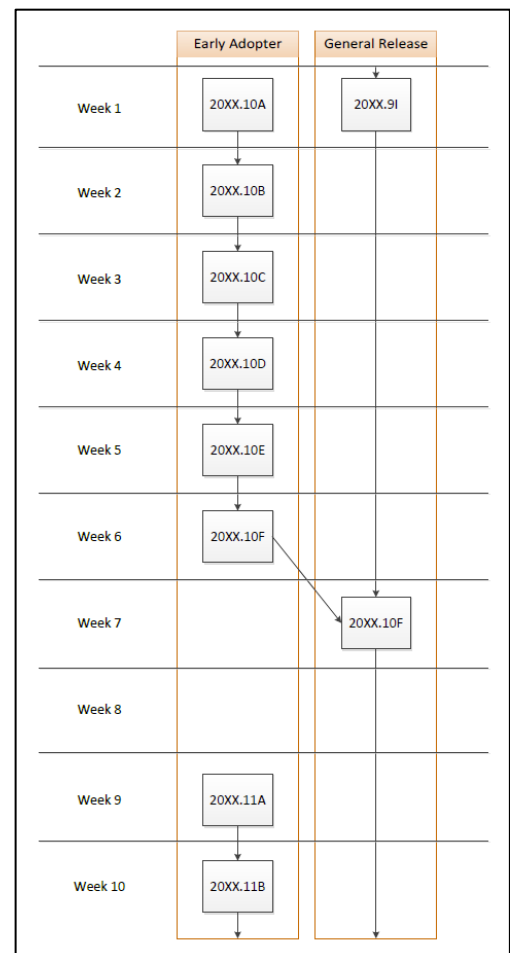
EA ユーザーは、GR ユーザーの前にオンラインコンポーネント経由で最新リリースを受け取ります。これにより一般公開の前に、ユーザーベースのサブセットで最新リリースをテストする機会を得ることができます。

GR ユーザーに提供される前に、最新リリースへの公開を確実にするために、ユーザーベースのサブセットを EA として設定することをお勧めします。

新しい EA バージョンが成熟し、安定している/信頼できると証明されると、それは GR に昇格され、その結果全てのユーザーがオンラインコンポーネント経由でリリースを受け取ります。

バージョンが EA に分類されている間、新しいリリースは週に 1 回(通常は米国の営業日の火曜日)に利用可能になります。バージョンが GR に昇格されると、必要な場合のみアップデートがリリースされます。したがって、EA として分類されたユーザーは、リリースごとに複数のオンラインコンポーネントをダウンロードしますが、GR ユーザーは同じ時間枠内でオンラインコンポーネントのダウンロード数がはるかに少なくなります。

右側の図は、典型的なリリースサイクルを示しています。1~6 週目で、EA ユーザーは毎週新しいバージョンをダウンロードします。その後、7 週目に最新の EA バージョンが GR に昇格され、全ての GR ユーザーがそのリリースをダウンロードします。このプロセスは、新しい EA バージョンのリリースとともに 9 週目に再び始まります。



フレームワーク ライフサイクル ポリシー

フレームワーク ライフサイクル ポリシーには 4 つの段階があります。最適、許容、限界、サービス終了。新しいリリースが利用可能になると、それらは「最適」と分類され、ライフサイクルの中間段階を経て最終的にサービス終了します。サービス終了は、通常、Early Adopter から General Release までの昇格進後、約 15 か月後になります。

例えば、2016 年 9 月に EA ユーザーにリリースされ、2016 年 11 月に GR に昇格された場合、サービス終了は GR 昇格から約 15 か月後、最初のリリースから 17 か月後の 2018 年 3 月に設定されます。

重要な点は、現在サービス終了しているバージョンを最初にインストールしたお客様が、自分の PC で FactSet を手動でアップグレードするように強制することではありません。この状況のお客様は、オンラインコンポーネント経由でサポートされているバージョンの FactSet をダウンロードして使用している場合は、引き続き Workstation を使用できます。オンラインコンポーネント経由で提供された FactSet バージョンがサポートされている場合、最初にインストールされたベースバージョンは関係ありません。

FactSet リリースの状況と予定されているサービス終了日の詳細については、以下をご参照ください。

<https://support.factset.com/>

サービス終了したバージョンを起動した場合

理論的には、オンラインコンポーネントを使用するお客様には、サービス終了メッセージは表示されません。ただし、FactSet を初めてご利用される場合、新しい PC を受け取った場合、または障害対応する際に、オンラインコンポーネントオーバーレイファイルのリセットした場合において、サービス終了したバージョンでログインしようとする可能性があります。この場合、右記のメッセージが表示されます。

FactSet がサービス終了したバージョンを認識すると、FactSet Workstation は直ちにオンラインコンポーネント経由で最新リリースをダウンロードしようとします。このダウンロードは、オンラインコンポーネント キャッシュフォルダ (詳細は本資料の最終頁にリンクされている資料参照) が存在する場合はそこから、またはインターネット経由で FactSet から直接実行されます。オンラインコンポーネント キャッシュフォルダからのダウンロードには通常 2~3 分かかりますが、インターネット経由で FactSet からダウンロードすると 10 分以上かかる場合があります (使用可能なインターネット帯域幅に依存します)。



ダウンロードが完了すると、依存するアプリケーションを閉じて FactSet を再起動するよう求められます。これにより、最新版を使用して FactSet を再起動し、ログインして Workstation を使用できるようになります。

推奨

ベースインストールのアップグレード

12 か月ごとに一度、FactSet のベースインストールをアップグレードすることを推奨します。ベースインストールをアップグレードすると次の利点があります：

- 時々、オンラインコンポーネント経由で一部の改修を実装できない場合があります。これらの機能拡張はベースインストールの更新が必要です。
- ベースインストールをアップグレードすることで、最新のリリースを含むオンラインコンポーネントが削除された場合でも（例えば、技術的な問題の障害対応において）、FactSet ユーザーが素早くログインできるようになります。
- 全ての FactSet ユーザーに共通のバージョンをパッケージ化して配布するケースでは、FactSet パッケージを年に 1 回アップグレードすることで、新しいユーザー、または再構築された PC で、最初のログインからサポートされているリリースが実行されます。これにより、中断無く FactSet にログインして使用することができます。

オンラインコンポーネント キャッシュ フォルダ

オンラインコンポーネント キャッシュ フォルダは、お客様環境内のネットワーク共有フォルダ上で、オンラインコンポーネント更新のキャッシュを可能にするオプション機能です。FactSet ユーザーは、アップデートをネットワーク共有フォルダにキャッシュすることで、インターネット経由ではなくローカルリソースからアップデートを取得することができます。これにより、オンラインコンポーネント経由で新しいリリースを取得するのにかかる時間と、FactSet のオンラインコンポーネント サーバーからインターネット経由でダウンロードされるデータの総量が削減されます。

オンラインコンポーネント キャッシュ フォルダの詳細はこちらをご参照ください ->

https://download.factset.com/documents/workstation/FactSet_OnlineComponents_Cache_Folder.pdf

お問い合わせ

フレームワーク ライフサイクル ポリシー、または FactSet オンラインコンポーネントについてのご質問は、こちらまでご連絡ください。
techsolutions@factset.com